

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	高級レストラン （専務）	来客数の動き	・九州新幹線が開業し、鹿児島中央駅からの乗客が多くなった。
		観光型ホテル （営業担当）	お客様の様子	・以前に比べて大分客単価が上がったことに加え、宿泊のオプション料金も発生しており、財布のひもが緩くなっている。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	単価の動き	・客に一品単価が高い商品を勧めたところ、買ってもらえるようになった。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・夏物衣料全般を中心としたクリアランスは、猛暑の影響から前半に集中して動きがあった。売上、来客数共に前年実績を上回っている。前年を下回っているのは雑貨部門だけであり、全般的には好調である。
		百貨店（営業企 画担当）	販売量の動き	・売上、客数とも前年実績には届かないものの、低下傾向に歯止めがかかってきた。
		スーパー（経営 者）	お客様の様子	・価格については底打ち感がある。また、良いものを買いたいという志向もみられる。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・景気を反映する中元のギフトが久しぶりに前年実績を超えそうである。また、猛暑の影響から値引きした衣料品を求める客が多く、来客数が増えた。このことが売上増に結び付いている。
		スーパー（店 長）	来客数の動き	・前月くらいから少しずつ客数が回復している。
		スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・梅雨明けが例年よりも早い上に30度以上の猛暑が連日続いているため、涼味・スタミナ関連商材の動きが異常に良い。賞与時期とも重なるため、販売数量が急増している。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・猛暑の影響で購買意欲が増している。特にアイス、飲料等の売上が伸びている。
		衣料品専門店 （総務担当）	単価の動き	・宝石の展示会をしたが、15～50万の商品が好調である。単価が前年より上がり、高級品の売上が伸びている。
		家電量販店（経 営者）	販売量の動き	・暑さが続いているため、エアコンの売上が好調である。デジタル家電も順調に動いている。
		家電量販店（企 画担当）	お客様の様子	・最近、来店客数が増える中で、高額品を買う客が増えてきた。
		高級レストラン （スタッフ）	販売量の動き	・久しぶりに売上が前年より良くなった。注文される品も高価なものが増えている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・午前中の乗車率が良くなった。また、夜会社関係でタクシーチケットを使う客が増えており、夜遅くまで客の乗り降りがある。	
	競輪場（職員）	来客数の動き	・入場者数が安定して増加している。	
	住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・住宅ローン減税を考慮する動きがみられる。	
	変わらない	商店街（代表 者）	お客様の様子	・今月は特に暑いので、商店街に来る客が少ない。日中は特に皆無である。
		商店街（組合職 員）	来客数の動き	・連日の酷暑のため、日中の来街者が極端に少ない。郊外の大型店に流れている様子である。
		一般小売店〔青 果〕（店長）	お客様の様子	・嗜好性の強い果物関係の動きが、ここにきて少しブレーキがかかった。進物自体も前年に比べブレーキがかかっている。
百貨店（総務担 当）		お客様の様子	・期待された中元の勢いがなく、クリアランスによる増加も長続きしない。以前と同じく、必要以上の買物はされない。	
百貨店（営業担 当）		来客数の動き	・催事での粗品の有無で来店数が大きく変化する等、客が消費にシビアになっている。一方、必要な商品は手堅く購入している。バーゲンも前年割れであるが、プロパー商品が伸び、買上単価はやや上昇している。中元はやや伸びているが、発注金額、個数共に前年割れとなった。新規導入の大型ブランドを除き、景気の下落傾向は変わらない。	
百貨店（営業担 当）		来客数の動き	・ボーナスの関係からセール期後半で伸びがあったものの、夏休みに入り、街全体の人通りがやや少なくなった。	

百貨店（業務担当）	お客様の様子	・催物等を行ってもにぎわいは初日だけしか続かず、目玉品と目的物以外の買回りがほとんどみられない。	
スーパー（店長）	お客様の様子	・客は必需品以外買わず、し好品がなかなか売れない。娯楽等の消費はしない。	
スーパー（店長）	単価の動き	・客数は増えているが、単価は落ちている。買う商品の質を落とすという傾向が、特に総額表示導入以降続いている。	
スーパー（店長）	お客様の様子	・客は増えているが、良く吟味して選んでいる。無駄な買物は控えており、安いからといって多く買うようなことはない。	
スーパー（総務担当）	単価の動き	・夏物商品としては、価格の安い商品や、タンクトップ、Tシャツ等の動きは良いが、高額商品の動きは今ひとつである。	
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・コンビニエンスストアは買上点数が少なく、スーパーとは違ったマーケットを持っている。しかし、少量の買物でも客は価格に敏感で、客が24時間営業のスーパー等に流れている。	
コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・夏休みに入っても高単価商品のまとめ買いの傾向が弱く、常に低単価商品のまとめ買いにとどまる。	
衣料品専門店（店員）	単価の動き	・猛暑の影響で、夏物セールスタートは好調だったが、これといったヒット商品がないため、単品買いが多く、客単価が伸びなかった。	
家電量販店（店員）	販売量の動き	・猛暑の影響でエアコンは好調であるが、薄型テレビ、DVDレコーダー等は期待するほど伸びてこない。限られた枠の中で買物をしており、エアコンに支出した分、他の電気製品がやや悪くなっている。	
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数が大きく減っている。また、客が提示する単価が非常に低い。	
その他専門店 [医薬品]（従業員）	単価の動き	・客数は好転しているが、客単価は下がったままであり、売上は思ったほど伸びない。	
その他小売 [雑貨卸]（総務担当）	販売量の動き	・卸売業は販売量が伸びていない。	
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・猛暑によりビアガーデン等は売上増が見込めるが、全体的な動きは不透明である。	
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・大手との販促競争を中止したが、そこそこの加入者は維持している。	
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・来客数は若干増えたが、単価は下落している。	
美容室（経営者）	販売量の動き	・例年は春から夏にかけて動きがあるが、今年は横ばいで推移している。	
美容室（店長）	お客様の様子	・客は、暑い日が続いているため我慢できずカットに来る、結婚式があるので髪を染める等、必要に迫られて来店している。	
設計事務所（所長）	お客様の様子	・設計計画の持込みはあるが、仕事には結び付かない。	
やや悪くなっている	コンビニ（販売促進担当）	販売量の動き	・パンの販売量は、量販店向けは前年の91.4%、コンビニ向けが同90.3%となり、3か月前に比べ2%程度下がっている。猛暑で売行きが鈍い。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・高額品が売れなくなっている。
	衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・3か月前はプロパー時期でそこそこの利益率を上げていたが、今月はセール時期にもかかわらず、2点、3点と買うのではなく、1点を吟味して買っている。プロパーの時期と同じように買う客が多く、利益率が低くなっている。
	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・猛暑の影響もあるが、来客数の減少が著しく、家具関連は景気の下げ止まりが感じられない。
	一般レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・中規模のパーティー予約が増えたが、当社より費用がかかるホテルや宴会場の客が当社に流れているだけのようなのである。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数が極端に少ない日がある。1組当たりの人数も少なく、売上が落ちている。

		旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・間際の申込が多く、先行受注量の伸びが悪い。現在のところ、やっと8月出発の受注が増えてきた。1日の受注量は、SARSの影響で受注が減っていた前年のレベルをクリアするのがやっとである。
		タクシー運転手	お客様の様子	・夜の来街客がかなり減っている。スナック経営者からは、ここ何か月かなり落ち込んでいるという話を聞いている。財布のひもがかなり固くなっているのではないか。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・来客数は前回より増えているが、契約に至る時間が以前よりも長くかかっている。3か月以上資金関係で検討する客が増えている。
	悪くなっている	その他専門店【書籍】（店長）	販売量の動き	・近隣に大型商業施設がオープンし、特に日祝日は客を奪われているようである。夏休みに入ってから、平日も影響が出ている。
		高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・例年であれば、夏休みは旅行者の来店があるが、今年は予約以外の飛び入り客が全くない。
企業 動向 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・猛暑の影響から、ビールの消費に比例して居酒屋向けの需要が伸びている。加工食品についても、鳥インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザ）の影響で輸入肉がないため、国内需要にシフトしている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・急な工事の受注件数が多くなった。契約金額はさほど大きくはないが、利益率は非常に良い。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の中小企業経営者から、景気が良くなってきているようであるというコメントをよく耳にする。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・新聞折込チラシの枚数が前年の105%となり、次第に増えている。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・ビール、発泡酒の売上が非常に良い。また、猛暑の影響で飲料水が品不足であり、業界内の景気は上向きである。
		その他サービス業【物品リース】（役員）	取引先の様子	・満了分の再リースのみでなく、レベルアップや新規入替えの反応が若干ではあるが出ている。
変わらない		農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・食肉関係は、低価格が要求されていることから販売が伸び悩んでいる。
		鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・先月と同じくメーカーと需要家で価格の綱引きが継続している。原材料価格が高騰の兆しを見せており、メーカーはより一層の価格への転嫁を図っていく方針である。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量は増えているが、金額が厳しく、材料コストが上がっている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・一部の客先は順調であるが、半導体関連の動きが鈍い。また、自動車関連は出図が遅れ気味であり、仕事に空きが出そうである。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連では、多ピンのリードフレームが非常に忙しい状況であったが、この動きはオリンピックまでと思われる。下期からは下降線をたどるのではないかと大手企業からの話が多々ある。また、その動きが少しずつ出てきた。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・このような客の情勢が続けば、いい状態は維持できる。ただ、もっと仕事量が増えれば、人員増や設備投資を行う必要があり、収益性が大いに悪化する。	
やや悪くなっている		窯業・土石製品製造業（経営者）	競争相手の様子	・中堅以上のメーカーは前年と比べ受注量が減っている。土日月曜、金土日曜で休むところもあり、一般の小売店、百貨店からの受注量は減っている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	それ以外	・材料が高騰しているため、仕入価格が上がり、また材料確保も困難である。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・資金需要が乏しい。商業手形割引、手形借入、当座借越等、日常の商取引に使われる運転資金の残高が、一貫して減少している。
悪くなっている		農林水産業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・農産物価格は、キュウリは前年の30%程度、ゴーヤーも前年の50%と大幅に落ち込んでいる。作付面積の増加や好天続きにより、出荷量は増えているものの、酷暑続きで日持ちが悪くなっており、価格下落の一因となっている。

雇用 関連	良く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 求人の中でも、特に先行指数的な新規求人の増加が前年を17か月連続で上回っている。1件当たりの求人数も増加するとともに、業務請負業からの大幅な求人増加が最近顕著になっている。また、建設業を含む全産業で求人が増加している。
	やや良く なっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・ 紹介予定派遣制度の利用企業が堅調に伸びている。積極的に直接雇用する動きが見えるが、人物を見極めて雇用するというリスクヘッジを同時に取っている。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	求人数の動き	・ 求人情報企業の掲載数が引き続き上向きであり、雇用形態としてはパート・アルバイトが特に増加している。当社では、求人フリーペーパーの掲載企業数に加え、インターネットの中途採用数も伸びている。新卒採用については、企業の意欲は高まっているが、厳選採用する意向が強い。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 新規求人数、求人数共に増加傾向である。また新規求職者が減少傾向にある。
	変わらない	民間職業紹介機関（支店長）	求人数の動き	・ 4～6月期以降も需要が衰えない。営業・販売職、金融系、IT技術者の需要は引き続き増加傾向である。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	雇用形態の様子	・ 常用の求人が増えず、派遣やパートの採用が増えている。
やや悪く なっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 求人数が前年に比べかなり少ない。また新設の事業所が前年よりも少ない。また正社員の退職については、補充しないか、パートや契約社員等の非正社員で補充する傾向が見受けられる。	
悪く なっている	-	-	-	